

6年学年だより

太陽



た…誰かに頼らず自分の力で
い…今以上を常に目指す
よ…よく考え、学び
う…生み出す

令和7年11月28日(金)
目黒区立東根小学校
校長 高鍋 恭子
第6学年担任

展覧会へ向けて



季節は瞬く間に冬へと変わってきました。子どもたちは展覧会に向けて、作品制作や学芸員活動に励んでいます。学芸員活動では、「どうしたら楽しく鑑賞できるか」や「どうやって鑑賞者と作品を見ていくか」という思いをもちながら学習を進めています。アートを多面的に見たり、対話のための言葉を調べたりと意欲的な姿が見られます。当日は、子どもたちとの鑑賞を楽しんでもらえたらと思います。

小学校での行事も残りわずかとなり、子どもたちの間でも「卒業」という言葉が少しずつ現実味を増してきています。残りの日々を充実して過ごせるよう、今後もサポートして参ります。

12月の学習予定

学習内容			
国語	『鳥獣戯画』を読む ぼくのブック・ウーマン おすすめパンフレットを作ろう 卒業文集		
社会	新しい文化と学問 明治の新しい国づくり 近代国家を目指して	音楽	詩と音楽の関わりを味わおう
算数	比例と反比例	図工	展覧会のふりかえり
理科	てこのはたらき	家庭	こんだてを工夫して
体育	ハードル走 走り幅跳び	外国語	My Future, My Dream
道徳	感動、畏敬の念 伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度	総合	キャリア教育 情報教育



○展覧会学芸員活動について

先月号でもお知らせした通り、今年度の展覧会では6年生が学芸員活動を行います。保護者鑑賞日に来場された方に向けて、自分が選んだ作品の魅力を保護者の方との対話の中で生成していきます。ご来場した際には、ぜひ参加していただけると幸いです。

各学級の担当時間は以下の通りとなります。

12月6日(土)	9:00~10:00	6年4組
	10:00~11:00	6年3組
	11:00~12:00	6年1組
	12:00~12:30	6年2組
	13:15~13:45	6年2組

○卒業文集の原稿について

12月12日（金）に学校で完成させた卒業文集原稿の下書きを持ち帰ります。ご家庭で内容や構成、誤字脱字等をご確認いただけますようお願いします。修正すべき箇所がありましたら、朱書きで原稿に直接お書きください。この用紙をもとに、本書きに入りますので、12月16日（火）までに、お子さんに持たせてください。

○能・狂言教室について

12月15日（月）に、子どもたちが日本の伝統と文化への理解を深めることを目的に、伝統芸能技能保持者をお招きし、能や狂言の実演及びワークショップを行います。

○いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議について

12月16日（火）に第十中学校区（東根小、八雲小、宮前小）の小学校6年生と中学2年生でいじめのない学校を目指して「よりよい関係を築くためのコミュニケーション」をテーマに話しを行います。給食後、第十中学校に行き、小グループで話し合い活動を行います。終了後は小学校に戻り、解散となります。下校が通常より少し遅くなる場合もあります。ご了承ください。

○書き初めの練習について

12月18日（木）に体育館で書き初めの練習を行います。しっかりと練習できるよう道具の準備等をよろしくお願いします。

○体育の服装について

冬季の体育授業では、体育着の上に上着を着てもよいことにしています。トレーナーのような飾りのないもの（フード、ファスナー、ひも、ボタンなどのないもの）にしてください。必要な場合は体育着と一緒に体育着袋に入れておくようお願いします。また、タイツ等を着用している場合は、体育の時間に履き替えられるよう、ひざ下までの靴下をご用意ください。

○卒業事務関係書類について

年明け以降、学校では小学校生活のまとめを行っていくとともに、進学に向けての準備を進めていきます。つきましては、冬季休業明けからの状況把握のため、12月12日（金）に「卒業に向けてのお願い②」を配布します。該当する箇所にご記入のうえ、1月9日（金）に連絡バッグに入れて担任へご提出くださいますようお願いいたします。

○1月8日（木）について

4時間授業で、給食はありません。下校は4時間目終了後、午後0時20分頃になります。
この日に席書会（書初め）を行うので、書写セットを忘れずに持たせてください。

持ち物：冬休みの課題、道具箱、書写セット、学習用情報端末、白衣（給食当番だった人）
国語・算数の教科書とノート、卒業に向けてのお願い②

※冬休みの課題については、冬休み号でお伝えします。

裏面あり



～ 〇 〇 月の児童の様子～

学芸員活動について

展覧会に向けた取り組みの一環として、目黒美術館より学芸員の方をお招きし、学芸員という仕事をについて直接お話を伺う機会がありました。普段はなかなか知ることのできない裏側のお話に、子どもたちは目を輝かせながら耳を傾けていました。「作品の魅力をどう伝えるかを考える仕事」という説明に、「難しそうだけど楽しそう」「自分もやってみたい」と前向きな声が上がりました。その後、実際に対話型の活動を行い、資料を題材に、「どこが心に残ったのか」「どんな意図が感じられるか」などを言葉で伝え合いました。初めは戸惑いが見られた子も、学芸員の方から「感じたことを大切にしていいよ」と声をかけてもらうことで、次第に自分の考えを表現できるようになっていきました。相手の意見にうなずいたり、「なるほど」と納得したりしながら、互いの見方の違いを楽しむ姿が見られたことは大きな成長でした。

展覧会に向けて

子どもたちは日々作品づくりに励んでいます。これまでの図画工作の学習で制作してきた版画や水墨画、家庭科で取り組んでいる縫い物など、学習の成果が形となりつつあります。眉間に皺を寄せながら細かな部分を調整したり、思うようにいかず試行錯誤したりする姿が見られる一方で、「ここはこうするといいよ」と楽しそうに教え合うあたたかな関わりも生まれています。

自分の思いや願いを作品に込めようとする姿勢はとても頼もしく、一つひとつの作品に子どもたちの成長が感じられます。完成した作品が体育館に整然と並び、来場者の皆様に見ていただく光景を想像すると、担任一同も今からわくわくが止まりません。子どもたち自身も、「早く見てもらいたい」「家の人が驚いてくれるかな」と期待を膨らませています。

年末のお忙しい時期かとは思いますが、ぜひ会場に足を運んでいただき、子どもたちの努力の結晶をご覧いただければ幸いです。また、当日は実際に会場で学芸員として活動しております。ぜひ子どもたちの学芸員活動を通して、作品を多面的に楽しんでもらえたらと思います。初めての試みに緊張もあるようですが、あたたかい応援が、何よりの励みになります。今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

デフリンピックについて

初めて日本で開催されたデフリンピックを観戦してきました。100周年という記念すべき大会を間近で見ることができ、大変貴重な体験になりました。事前学習の中で、選手が全力を出し切れるようにと、子どもたちは応援ボードを作成し、サインエール（手話による応援）の練習にも取り組みました。当日、スタートの合図が光で示されることや、手話を用いたコミュニケーションなど、これまで知らなかった世界に触れ、「スポーツは誰もが楽しめるものなのだ」「努力する姿は言葉がなくても伝わるのだ」ということを実感したようです。気持ちを込めて応援する子どもたちの表情はとても生き生きとしており、デフリンピックの魅力を肌で感じていることが伝わってきました。

今回の観戦を通して、スポーツのもつ力や、多様な人々が互いを尊重し合うことの大切さに気付くことができました。この経験が、今後の学校生活や人との関わりに活かされていくことを期待しています。